

まつだいサイエンス講座～コンピュータの不思議～

日時: 2016年8月17日(水) 9:20～ 18日(木) 16:00

会場: 県立松代高等学校 コンピュータ室



全体風景



ビジュアルプログラミング（Scrach）の解説を理解しながら脳波を計測



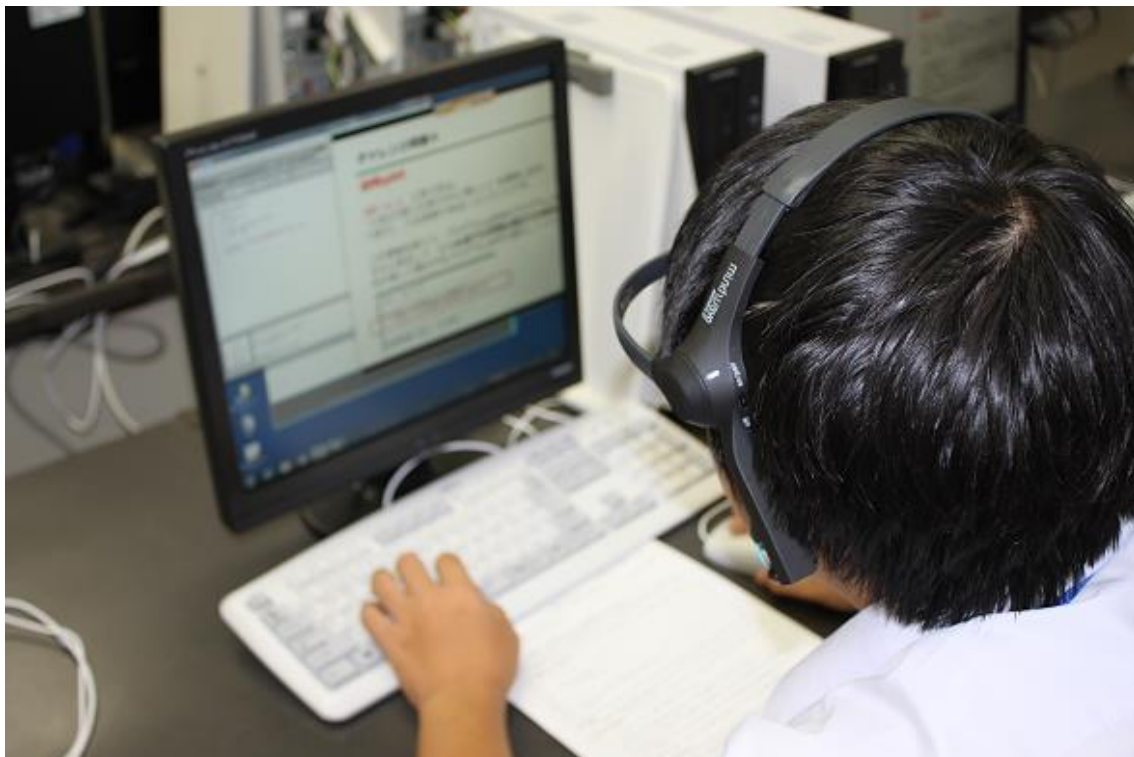
ビジュアルプログラミング（Scrach）を学習中



脳波でドローンを飛ばす



視線計測中



C 言語のチャレンジ問題を解きながら脳波を計測

【感想】

「脳波でドローンを飛ばしてみよう!」「3Dセンサでゲームをしよう!」「スクラッチを体験しよう!」「C言語を体験しよう!」という2日間のサイエンス講座の中に、LeapMotion操作時の脳波計測(実験A)、タイピング練習時の脳波計測(実験B)、プログラム言語解説学習時の視線追跡(実験C)、プログラム言語解説スライド閲覧時の脳波計測(実験D)、プログラム編集履歴取得(実験E)、難易度別問題解答時の脳波計測(実験F)という6種類の実験を盛り込むことができた。

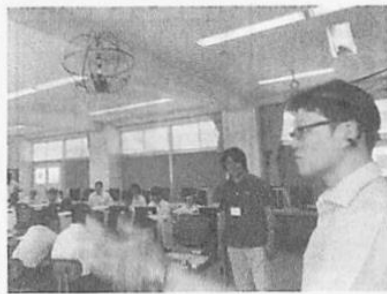
最終日に行ったアンケートからもわかるように、データ取得のためだけの実験にとどまらず、最新技術を体験できるように構成したため参加者の満足度も高いものとなった。

梅澤 記

東頸新聞（2016年9月1日）に「まつだいサイエンス講座」の様子が掲載されました。

第 1688 号

（昭和60年7月3日第三種郵便物認可）



力会代表取締役木戸一之氏

講座は主に松代早稲田協

松代高校サイエンス講座 脳波でドローンを飛ばす

県立松代高等学校（長谷川雅一校長）で夏休み中の

8月17日・18日の両日同校で、まつだいサイエンス講座「コンピュータの不思議」が開催された。

講師等は、会津大学短期大学部准教授中澤真氏、湘南工科大学工学部准教授梅澤克之氏、高崎経済大学経済学部准教授石田崇氏、東京都市大学知識工学部教育講師齋藤友彦氏、早稲田大学理学部総研名誉教授平澤茂一氏、松代早稲田協力会代表取締役木戸一之氏、早稲田大学生（TA昼食時の懇談に参加）

で学ぶことを通じて、最新科学技術への興味、関心を高める、早稲田大学における教育や学習方法、大学生の生活などを知り、進路選択の一助とすることを目的に行われた。

内容は(1)脳波で情報処理(脳波でドローンを飛ばそう)(2)3Dモニタセンサの体験(3)プログラミング言語の体験(4)早稲田大学

の学生との懇談

受講した学生の感想や意見。▽C言語では難しい部分があり大変だったけど少し学べてよかった。▽プログラムの打ち方、コマンドの種類に驚きました。▽脳波を使ったゲームがとてもおもしろかった。次は脳波でドローンを自由に操りたい。▽ゲームを作る人はこれ以上をやっているんだと思います。▽C言語のプログラムを体験できて楽しかった。プログラムに興味

をもちました。▽爆発ゲームが楽しかったこと、早稲田大学生と話をしてとても自分のものになりました。▽とても楽しく学ぶことができました。進路を考えるのに役に立ちました。